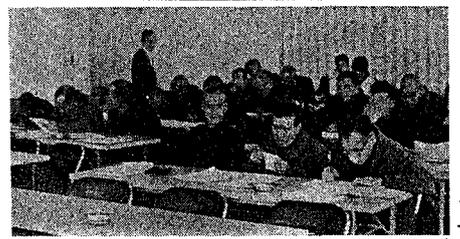


小型操縦士指定講習会

小型船舶操縦士指定講習会は去る二月一日より淡路町を皮切りに一斉に開講した。本県の指定講習は全国に先がけ、実施されたため複雑な事務処理と従来の臨時講習及び試験の相違が組合員に充分理解されず定員の確保さえ案外なされた。六月までに一人でも多く受験者と県漁連では総力を挙げ指導にあたったが前例のない講習の実現には苦勞談失敗談も数知れないが県、漁協の理解を得て二月一日先ず淡路町臨時講習所が開講した。



熱心に受講する漁師さん(淡路町公民館で)

三地区一五四名合格

ト(4回)の成績以外に出るを真面目さと個性を兼ねて受講態度等総てが採点に加味される。従って講師も受講生も真剣そのものの講習会であった。岩屋での成果は指導援助にあたった私達の大きな励みとなり二月十一日から

た。しかし生活のためとは言葉、ハオに近い年寄りと一〇日間のカンヅメ極業であったこと。漁業は、辛苦の極みであつたこと。七十八才の〇さん(この年になつて勉強せよとは酷な話)と。字は昔くへんし一度に六つも七つと頭に入らんし、わしから講習が始まってからテストのこの努力を導く協力であるので関係組合においても充分な活動を切望します。(2・28県漁連)

2月の漁況と海況(内海側)

●海況

1~3日播磨灘で実施した海洋観測結果では、北東部海域で7~8℃台、その他の海域8.5~9.5℃の水温値を示したが、全域にわたっての各層水温差は前月に引続きほとんど変わらない。これを平年に比較すると北東部海域の一部で1~1.5℃低目でその他の海ではほぼ平年並かやや低目、また5~6日における大阪湾では北東部海域で7~8℃、中部で8~8.5℃、南西部で9~10℃を示して播磨灘同様各層の水溫差はほとんどみられず、平年比較では湾全域表・中層で0.8~1.3℃、特に南西部海域の友ヶ島寄りでは底層で2.0℃内外それぞれ低目に推移した。一方17~18日に実施した紀伊水道北部の海洋観測結果では東部海域で表・中層10~10.3℃、底層10.4~11.4℃を示して平年並、中部海域で表・中層10.4~10.7℃、底層11.0~12.3℃、西部海域で表・中層9.4~9.6℃、底層9.9℃を示し共に平年より0.3~1.0℃高目に経過している。

●漁況(概況)

前月に引き続き魚場図A印で示す海域では、また南部ではワカメの摘取りで活況を呈しているが、反面漁船漁業は前月に引続き極めて低調である。現在漁船漁業の主な対象魚については明石瀬戸とその東部海域では、イカナゴ親魚、カレイ、アイナメ、カサゴ、メバル、アナゴ、イイダコなど、淡路南部海域では、ナゴヤフグ、エソ、キス、ハゼ、シヤコエビ、エビ、ハゲ、タイ、コノシロ、アナゴ、ウシノシタなど、淡路西浦海域では、カレイ、イイダコ、キス、ナゴヤフグ、エソ、グチ、ハゼなどが各海域で操業する小型底曳一本釣、建網などの主対象魚となっている。また、各地に先がけて岩屋地区では今月16日よりイカナゴ親魚(フルセ)を対象としたパッチ網、船曳網、込網網、27日には福良地区でイカナゴ新仔対象の込網網などの操業を開始したが、本年のフルセ漁は、比較的好調なスタートを切っている。

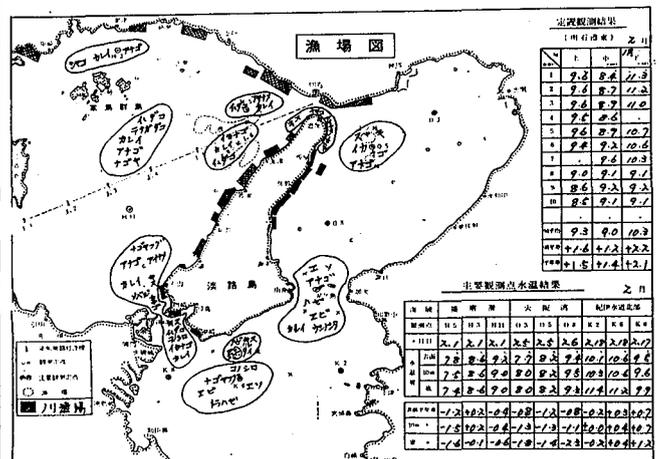
●各地

- ※明石浦 小型底曳イイダコ30~40キロ@手持400~500円、スゴ 200円、アイナメ10キロ@1,000円、カレイ類3~5キロ@1,200円、10隻。ブンチン浦イイダコ30~40キロ、カレイ類5~10キロ5隻。アイナメ一本釣7~8キロ@1,000~1,300円。スズキ一本釣3~5キロ@1,500円各30隻。
- ※岩屋 イカナゴフルセ船曳網1,200~1,500キロ@110円6統。イカナゴフルセパッチ網1,000~1,200キロ@30~35円22隻。イカナゴフルセ込網網 800キロ@80~85円1統。アイナメ一本釣4~10キロ@1,200円40隻。アナゴ延縄100~170キロ@大700円、(小)300円(半々)26隻。磯曳網メバル10キロ@800円、アイナメ6~7キロ@900円15隻。カレイ延縄14~15キロ@820円5隻。キス流し網5~6キロ@800円3隻。ナマコ突棒5~6キロ@赤520円青200円3隻。
- ※沼島 小型底曳エソ100~250キロ@50円、ナゴヤフグ10キロ@200円、アナゴ7~10キロ@430円、キス10~20キロ@450円、トラハゼ3~5キロ@75円、小エビ5~7キロ@150円、シヤコエビ10~20キロ@70円、34隻。タイ一本釣5~10キロ@大3,200円(目廻り1.5キロ以上)(中)2,000円、(小)1,500円(500g以下)3隻。キス一本釣5~12キロ@600円50隻。ハゲ一本釣10キロ@200~500円2隻。アナゴ延縄15~30キロ@350~400円2隻、突棒ナマコ10~30キロ@赤250円、青60円、アワビ5~8キロ@550~1,000円、サザエ15~25キロ@250円15隻。八田網アジ200キロ、@250円、コノシロ100キロ@120円、サバ350キロ@50円、2統。
- ※福良 小型底曳網メイトカレイ、アマカレイ5キロ@800円、アイナメ3キロ@1,000円、ウシノシタ3キロ@400円、イイダコ2キロ@340円、オコゼ1キロ@1,000円、29隻。キス流し網12キロ@580円3隻。イカナゴ新仔込網200キロ@1,000円、7統。
- ※丸山 キス曳網50キロ@400円8隻。メイトカレイ曳網30~40キロ@1,400円20隻。ナゴヤフグ曳網50キロ@400円6隻。アナゴ延縄50キロ@420円18隻。

●今年のカナゴ新仔見込みについて

※稚仔の分布状況
稚仔の採集点数は昨年とはほぼ同数で、採集時期も大差ないが、今年は播磨灘、大阪湾とに入網しない測点がみられた。産卵盛期は昨年より早く、12月中旬と推定されたが、2月上旬に採集された稚仔の大きさも昨年より大きい。しかしその分布状況は、播磨灘では北西域に重心があり、同灘中部にBlank感のみとめられるとともに、大阪湾での採集数もごく少ない。したがって、今年の稚仔はふ出盛期(1月上~中旬)の拡散が悪く、淡路島北東域の発生主群は大阪湾へ十分移行せず、また播磨灘へは、同灘西部発生群の添加が少ないう模様である。

※当才魚の予測
稚仔発生量に関する諸要因を総合すると、今年当才魚の発生量は例年以下と考えられる。産卵盛期や稚仔体長組成からみて漁期は昨年よりやや早い可能性はあるが、量的には期待薄である。しかし近年はハマチ餌料としての需要が大きいため、5月に多獲されるが、漁期は昨年より短期と思われる。(水試岩井)



「速報」
三月二日終了試験の結果左記のとおり合格した。
洲本地区 五十六名
北淡地区 五十八名



各助言者からの講評

全国の漁村青壮年および改良や経営、生活の合理的な活動グループはそれの改訂改善を努力して昭和二十九年〇〇をこえ、それぞれ日、要望を反映して昭和二十九年頃当面している生産技術の度より毎年その活動成果を

発表し、お互いに知識の交換に漁村、相互親和を深め、研究に励むのが最も多岐にわたる活動であり、生活の向上発展に大きく寄与してまいりました。本年研究討議も熱心に行なわれ、今年度活動実績発表大会が、今後におけるグループ活動の健全なる育成とその発展に資するため、全漁連主催・水産庁後援により二月二二・二三日の二日間、淡路市水産センターで開催された。

発表グループはあらかじめ水産庁、全漁連で選考され、本県からは兵庫県大会で推せんされた柴山水産研究会クラブが「但馬のソノイカ釣漁業の概観の研究」について、漁業分科会に出場した。

実績発表は漁業、増殖、養殖の三分科に分れて第一日は発表、第二日は研究討議が行なわれた。各会場とも二日間にわたる熱心な参加者で溢れるばかりの盛況であった。

漁業部門では「四グループ」が出場し、網・釣漁業について漁業、漁法の改良研究に励むのが最も多岐にわたる活動であり、生活の向上発展に大きく寄与してまいりました。本年研究討議も熱心に行なわれ、今年度活動実績発表大会が、今後におけるグループ活動の健全なる育成とその発展に資するため、全漁連主催・水産庁後援により二月二二・二三日の二日間、淡路市水産センターで開催された。

発表グループはあらかじめ水産庁、全漁連で選考され、本県からは兵庫県大会で推せんされた柴山水産研究会クラブが「但馬のソノイカ釣漁業の概観の研究」について、漁業分科会に出場した。

実績発表は漁業、増殖、養殖の三分科に分れて第一日は発表、第二日は研究討議が行なわれた。各会場とも二日間にわたる熱心な参加者で溢れるばかりの盛況であった。

漁業部門では「四グループ」が出場し、網・釣漁業について漁業、漁法の改良研究に励むのが最も多岐にわたる活動であり、生活の向上発展に大きく寄与してまいりました。本年研究討議も熱心に行なわれ、今年度活動実績発表大会が、今後におけるグループ活動の健全なる育成とその発展に資するため、全漁連主催・水産庁後援により二月二二・二三日の二日間、淡路市水産センターで開催された。

第十七回全国漁村青壮年婦人活動実績発表大会開催される

全国の漁村青壮年婦人活動実績発表大会は、お互いに知識の交換に漁村、相互親和を深め、研究に励むのが最も多岐にわたる活動であり、生活の向上発展に大きく寄与してまいりました。本年研究討議も熱心に行なわれ、今年度活動実績発表大会が、今後におけるグループ活動の健全なる育成とその発展に資するため、全漁連主催・水産庁後援により二月二二・二三日の二日間、淡路市水産センターで開催された。

Z-3型 待望の魚探機誕生
皆稱の大漁を御約束する
小型から中型までの万能魚探機
MODEL-Z-3 A, B, C, D
二層波魚探も出来る

海上電機株式会社
東京 都 千代田区 明神町 2-3-1
電話 2954-2730

ノリ病害とその対策

IV 付着生物による害

養殖初期や高水温時によるノリは、茶褐色または黄緑色に発生する付着生物による害で、私たちが「どたぐさ」や「青ノリ」とか言っているものである。付着生物の代表的なものとして、ウバアオノリ、スジアオノリ、ボウアオノリ、ヒトエダサ等がある。このノリは、採取初期の十分な干出や短期冷凍による方法など、皆さんが経験的に実施されてきた方法しかない。今回は、三月からの水温上昇期に発生し易い「どたぐさ」について述べる。



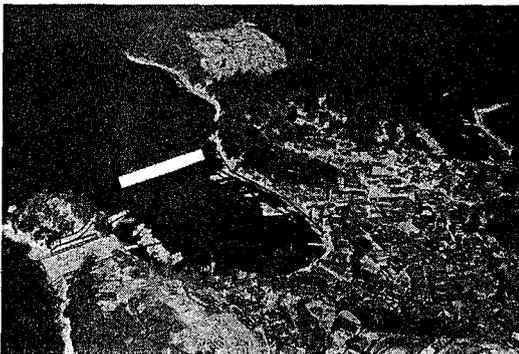
アダン アダンノコ

ノリ葉体に着生する主な付着生物

ノリ葉体の表面に、珪藻類、藍藻類、細菌類、時にトリガネムシ等が着生しておきる病害である。これが多数付着したノリ

昇期に入り、再び多発すること予想される。発生状況をみると、水温が高くなり、潮通しの悪い場所、重ね網の時期によく発生し被害も大きい。

対策として、まず、平常から網洗いを十分おこなうことである。しかし、付着がひどくなった場合は、干出や一時冷凍によるより他ない。葉体を痛めない



坊勢漁港全景

やつと防波堤頭を出す！

坊勢漁港 (第二種家島町)

本漁港は家島群島に散在する男鹿島、坊勢島の四島の内の代表的な家島、西島、坊勢島に在って家島漁港に

つく重要な漁港である。また、本漁港は永井、奈保、西の浦の三地区により成

ており、昭和二十七年五月漁港指定(第一種)を受け

昭和四十三年十二月第二種附帯施設として事業費三

千八百十千円で採択され、翌年度より、港勢は年々上昇して、四十四年

度は地元漁船三五隻、この間多角的に計画を検討し

た結果、在来の地形を有効に生かして、冬期の西風による

静穏な泊地を造成するた

め、在来の湾口を防波堤

で、主要漁業は底曳きで、

岩を基礎としたパライソ

バル、エビ等高級漁産物

を捕獲する漁船が安全に

を泊行するためには、水

局改修事業で防波堤、物揚場工に困難を極め四十年度は

第4次漁港整備計画概要 (44~48)

施設名	全体計画数量	数量
外かく施設	1号防波堤162m 2号防波堤55m	1号岸壁15m 2号岸壁43m
水域施設	-3.5m航路60m-2.0m航路6100m	3000m ² 6100m ²
けい画施設	-2.5m物揚場90m	
機能施設	用地造成	330m ² 1110m ²

海岸5ヶ年計画 (45~49) 但し45年完成

施設名	全体計画数量	数量
名岸	L=211m	

「財団法人漁船海難遺児育英会」設立される

昭和四十五年十一月二十日の推進に当っており、二月末日現在各漁船及び船人の部の絶大なご協力とご力

財団法人漁船海難遺児育英会」の設立が四月十日、あつと一月となりま

二十九日付で、今後とも事業資金の確保に努めること

の条件を付して文部、農林の両大臣によって認可され

れ、十一月五日登記完了し、事業が開始されました。

中心となつてこの資金確保のため、前年度に引き続き資

金目標額に向けて全国的に募金活動が盛んに展開され

ており、既に大半の県が目標額を達成している現状で

あります。本県においては、一、奨学生となり得る者

左の各号に掲げる者の子孫、漁業従事者が漁船の海

難、漁業従事上の災害、

の突破を旨として募金運動

の推進に当っており、二月末日現在各漁船及び船人の部の絶大なご協力とご力

財団法人漁船海難遺児育英会」の設立が四月十日、あつと一月となりま

二十九日付で、今後とも事業資金の確保に努めること

の条件を付して文部、農林の両大臣によって認可され

れ、十一月五日登記完了し、事業が開始されました。

中心となつてこの資金確保のため、前年度に引き続き資

金目標額に向けて全国的に募金活動が盛んに展開され

ており、既に大半の県が目標額を達成している現状で

あります。本県においては、一、奨学生となり得る者

左の各号に掲げる者の子孫、漁業従事者が漁船の海

難、漁業従事上の災害、

の突破を旨として募金運動

の推進に当っており、二月末日現在各漁船及び船人の部の絶大なご協力とご力

財団法人漁船海難遺児育英会」の設立が四月十日、あつと一月となりま

二十九日付で、今後とも事業資金の確保に努めること

の条件を付して文部、農林の両大臣によって認可され

れ、十一月五日登記完了し、事業が開始されました。

中心となつてこの資金確保のため、前年度に引き続き資

養魚の調餌と造粒は コウベヒラガのミートチヨッパーで

養魚用ミートチヨッパーNo.32からNo.72まで各種製作しています。又最近の人工餌料需要の増加にともない生魚と人工餌料をよく練り合せ造粒装置付チヨッパーで給餌することもできます。

(脚一報次第カタログ贈呈いたします)

ミートチヨッパーとプレート、ナイフの専門工場
株式会社 平賀工作所
神戸市長田区水笠通3丁目8
TEL 代表神戸(078)62-1527

奨学生に記念品を交付し、その交付は一回限りとし、その額は一〇〇〇円とす。

(但し昭和四十五年度「十月・三月」は小中学生のみに実施し四十六年度より本邦実施)

1、昭和四十六年度奨学金の送金は、前年より、三カ月分をまとめて次の日程で送金する。

第一回送金六月中旬
第二回送金九月中旬
第三回送金十二月中旬
第四回送金三月初旬

新規小一に対する記念品代は四月下旬に送金する

4、奨学金の給付は、昭和四十五年度より育英会↓農林中金↓農信漁連↓漁協に奨学金の基本ルーツで送金する。

3、奨学金受給申請上の留意事項

(1) 遺児、管下地区居住の遺児、あるいは保護者と連絡をとりつつ奨学生資格者の受給申請、本年四月以降は左のルートにより行なう。

対象遺児↓居住地区漁協↓県漁連↓育英会

2、受給の申請は左の書類を完備の上期日までに育英会に提出し期日を経るらない。

(1) 願書(様式A)
(2) 事故証明書(様式B)
(3) 所得証明書(生活保護世帯は様式C)
(4) 在学証明書
(5) 校長推薦書(高等学校奨学生希望者のみ、様式D)
(6) 戸籍簿

(以上)

3、その他小六・中三↓高校に進学の場合は学区分変更届(様式E)を提出し、住所変更などの願書記載事項に変更が生じた場合はその都度速やかに異動届(様式F)を提出すること。

4、転学、住所変更などの願書記載事項に変更が生じた場合はその都度速やかに異動届(様式F)を提出すること。

5、奨学金受給申請上の留意事項

(1) 遺児、管下地区居住の遺児、あるいは保護者と連絡をとりつつ奨学生資格者の受給申請、本年四月以降は左のルートにより行なう。

対象遺児↓居住地区漁協↓県漁連↓育英会

2、受給の申請は左の書類を完備の上期日までに育英会に提出し期日を経るらない。

(1) 願書(様式A)
(2) 事故証明書(様式B)
(3) 所得証明書(生活保護世帯は様式C)
(4) 在学証明書
(5) 校長推薦書(高等学校奨学生希望者のみ、様式D)
(6) 戸籍簿

(以上)

3、その他小六・中三↓高校に進学の場合は学区分変更届(様式E)を提出し、住所変更などの願書記載事項に変更が生じた場合はその都度速やかに異動届(様式F)を提出すること。

4、転学、住所変更などの願書記載事項に変更が生じた場合はその都度速やかに異動届(様式F)を提出すること。

5、奨学金受給申請上の留意事項

(1) 遺児、管下地区居住の遺児、あるいは保護者と連絡をとりつつ奨学生資格者の受給申請、本年四月以降は左のルートにより行なう。

対象遺児↓居住地区漁協↓県漁連↓育英会

2、受給の申請は左の書類を完備の上期日までに育英会に提出し期日を経るらない。

(1) 願書(様式A)
(2) 事故証明書(様式B)
(3) 所得証明書(生活保護世帯は様式C)
(4) 在学証明書
(5) 校長推薦書(高等学校奨学生希望者のみ、様式D)
(6) 戸籍簿

(以上)

